

国語科 学習指導案

茨木市立三島小学校

1. 日 時 令和6年度 9月13日(金) 第5時限(13:50~14:35)

2. 場 所 第1学年1組・2組 各教室

3. 学 年・組 第1学年1組(35名)・2組(36名)

4. 単 元 名 おはなしを読もう(読むこと)

5. 教 材 名 「サラダでげんき」(東京書籍)

6. 単元目標

(1) 平仮名及び片仮名を読み、書くことができる。

[知識及び技能](1)ウ

(2) 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。

[思考力、判断力、表現力等]C(1)イ

(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

7. 言語活動 「サラダでげんき」ストーリーを完成させよう

8. 教材観

病気のお母さんのために、おいしくて元気になるサラダを作ろうとする「りっちゃん」の前に、サラダづくりに協力する動物たちが次々と登場する楽しいお話である。動物たちの登場の仕方(行動)、サラダに入れるとよいとアドバイスする理由(会話)に、それぞれの動物の個性が表れている。人物の行動に着目して、場面をとらえ、想像しながら読み進めるのに適した教材といえる。

9. 児童観

入学してきた子どもたちは、「ひらがなが読める、書ける子」「読めるが書けない子」「読みも書きも難しい子」など、それまでの保育・教育環境によって文字に対する知識もさまざまである。そのような状況の子どもたちが一から言葉を楽しく習得していくような取り組みを行った。

【くぐらせ期のかな文字指導】

・ねんどで「あ」をつくる

手でねんどをこね、みんなで学習した「あ」を作成。3つの線の長さの違いを体感したり、書き順（かかねていく順）を確かめる。

・また、書き順や文字のバランスを「たまご・ひよこ・かえる・きょうりゅうのへや」の4つに分割し、「この字はたまごの部屋からスタートするよ」と声を掛け合いながら学ぶすがたがあった。

【ことばあつめ】

子どもたちの生活実態や、それまでどんな語彙を獲得してきたのかを把握することができた。ことばあつめのスタートは手拍子でリズムを感じながら、促音、拗音、長音は動作をつけて定着を図った。ゲーム感覚で楽しむことを大切に行い「や」「やぎ」「やかん」「やきそば」のように1文字ずつ増やし、どこまで続くのかクラス全体で意欲をもって取り組む姿があった。

【くっつきの、はをへが棒】

棒の先に「は」「が」などの助詞をつけて、教室内にあるもの「テレビが」「テレビは」に続く文を考える学習を設定した。書くのではなく、話すことでとなりのお友だちとペアで楽しく取り組むことができた。また掃除時間の終了の挨拶時に手伝いに来てくれる6年生が棒を持って一年生の肩などにくっつけて「1年生がてきぱきと掃除をしていました。」など短文を披露してもらった。その後、1年生がお返しに「6年生はやさしい」などと「はをへが」をつかって返答している。そのやりとりが短文づくりの自信となり、掃除時間後の6年生との交流時間を楽しみにする子が多く見られた。

また、入学時より続けている「日直のスピーチ」に「いまどんな気持ちカード」を活用して、朝の自分の気持ちを端的に説明する活動を取り入れている。「わたしのきもちはやったあ、です。なぜなら・・・」「わたしのきもちがしょんぼり、です。なぜなら・・・」など、自分の気持ちをわかりやすく説明する場を設定している。そこで培ったちからを国語科の文学「かいがら」での授業でも登場人物の気持ちをお話から想像するときも「いまどんなきもち」カードを活用してとりくむ子どもたちが多くいた。

以上のように、1年生にとっての1学期の国語科は「言葉にふれ」「言葉を楽しむ」ことを重点に、遊びやゲームを通して楽しく学ぶ場を設定した。4月当初は自分の気持ちが言葉でうまく言い表せない子どもたちも、こんなことができるようになりたい、こんなことがにがてだから手伝ってほしい、とい自分の気持ちを少しずつ説明できる子どもたちが増えきたことをふまえ、今後も言葉をつかったコミュニケーションを2学期以降も大切にしていきたい。

10. 指導観

本単元では、「サラダでげんき ストーリーを完成させる」という言語活動を設定する。お話を読み進めながら自分たちと同じまだ小さいりっちゃんが、病気のお母さんのためにサラダを作るというお話に自分も登場人物になりきりサラダづくりの手伝いをする。動物たちが次々とあらわれ、動物の特徴をいかしたアドバイスがりっちゃんに告げられる。その具材を毎時間子どもたちのワークシートに書き込み、単元の学習の後半になるとお皿の上に具材がたくさん盛り付けられたサラダが出来上がるような活動も入れながら、楽しく学びながらつけたい力を確実につける学習を行う。

まず第1時は「初発の感想」を大いに活用し、子どもたちがどの場面、どの人物に興味をもち想像をふくらませているのかを把握する。ここで友だちとの感じ方の違いがあることに気づき、さらに友だちと読み進めていきたいという意欲を引き出していきたい。

第2時で「単元のゴール」である「この教材でどんな力をつけるのか」「そのためにどんな言語活動を行うのか」を確認する。また、前時でもった感想を交流することで、自分が気づいていないおもしろさに気づき、単元の見通しをもつ。

第3～5時では、登場する動物がどんな順番で、どんな行動をしたのか、どんなセリフを言ったのかを、動物の特徴をおさえながらお話の楽しさを味わう。特に最後のアフリカゾウと今までの動物のしたことの違いに気づくことができるようにまとめていく。

第6時を本時とする。この時間は「できあがったサラダに、さらに自分がお話の登場人物になってサラダを仕上げる」ために「どんな具材を入れるのか」「それにはどんな理由があるのか」を物語の世界観を引き継いだまま想像していく。「病気のおかあさんを元気にするために」自分ができることを楽しく、友だちと交流することでさらに考えを深められるように支援していく。

第7～8時では、前時できあがった自分だけのオリジナルレシピを友だちに紹介する。自分とちがうところ、新しい発見などを伝え合い、つぎもやってみたいと学びの意欲につながるような活動を設定する。

11. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・平仮名及び片仮名を読み、書いている。(知識・技能)(1)ウ	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 (思考・判断・表現)C・イ	・登場人物の行動について、粘り強く大体を捉え、学習の見通しをもって感じたことや考えたことを友だちと伝え合おうとしている。

12. 単元の指導と評価計画(全10時間 本時6 /10)

時	学習内容	学習評価 (◎記録に残す評価 ○指導に生かす評価)			
		知技	思判表	主体	評価規準・評価方法等
1	●初発の感想を交流する 【構造と内容の把握】 ・つきたい力を確認する ・題名からお話をイメージする ・教師の範読 ・カードを使っておもしろさやふしぎなところを交流		○		・行動観察 ・WS
2	●単元計画を確認する【構造と内容の把握】 ・前時の「みんなの考え」を紹介(問い) ・登場する動物を確認			○	・行動観察 ・WS
3	●物語のだいたいをとらえる 【構造と内容の把握】 ・りっちゃん、のらねこ				・行動観察 ・WS
4	・犬、すずめ、あり				
5	●それぞれの場面で登場人物のしたことを読み取る 【精査・解釈】 ・さし絵を参考にそれぞれの場面で登場人物がしたことを確認する		○	○	
6 本 時	●「サラダでげんき」のお話の中に「自分を」登場させる 【考えの形成】 ・モデル文を入れた本文を読み、子どもたちの興味関心を引き出す ・友だちと交流しながら自分の考えを深める			◎	登場人物の行動について、粘り強く大体を捉え、学習の見通しをもって感じたことや考えたことを友だちと伝え合おうとしているかの確認。 【主】 (行動観察・WS)
7 8	●前時での学びをふりかえり「サラダでげんき」ストーリーを完成させる 【考えの形成】 【共有】 ・前時での交流をもとに、お話を完成させる	◎	◎		平仮名及び片仮名を読み、書いているのか確認。 【知・技】 (行動観察・WS)

	・できあがったお話をお互いに読み合い、いいなと思ったところ、自分とちがうところをみつける				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えているのか確認 【思・判・表】 (行動観察・WS)
9	●単元テスト	◎	◎		

13. 本時の展開

(1) 本時の目標

・物語を読んで、登場人物になりきった自分がどんな行動をするのか考えたことを、友だちと伝え合おうとする。

(2) 本時の評価規準

・物語を読んで、登場人物になりきった自分がどんな行動をするのか考えたことを、友だちと伝え合おうとしている。【主】

(3) 本時の判断基準

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
・物語を読んで、登場人物になりきった自分がお話の世界観を大切にしながら、どんな行動をするのか粘り強く考え、友だちと伝え合おうとしている。【主】	・登場人物(動物たち)がなぜその具材を選んだのか、理由を述べている叙述から考え、身近な友だちをりっちゃんと重ねて想像するように促す。 【主】

(4) 本時の学習過程

(○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価)

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
10	① 本時の課題を確認する。	・前時までの学習をふりかえりながら「登場の仕方」「材料」「食べるとどうなるか」に着目して、ストーリーを作ることを確認する。	
	じぶんだけのオリジナルレシピをかんがえて 「サラダでげんき」ストーリーをつくろう		

20	② ペアと交流する。	・モデル文を入れた本文を読み、興味関心を引き出す。 ・相手の考えを受け入れる 「ほかほかのいっぽ」と、質問で相手の考えを深める 「なぜなぜのいっぽ」を活用するように伝える。 ・動作化を取り入れて登場人物になりきるよう促す。	◎主体的に学習にとりくむ態度 (行動観察・ワークシート)
10	③ どのようなストーリーになったのか全体で交流する。	・全体で交流することで、自分の考えをさらに固める。 ・「なぜそんな動きなの?」「どうしてそう考えたの?」等思考の過程を問う発問で、動作化と言葉や文が関連付いていることや、材料を入れた理由を確認しながら交流する。	
5	④ 「国語の記録」としてふりかえりを書く。		

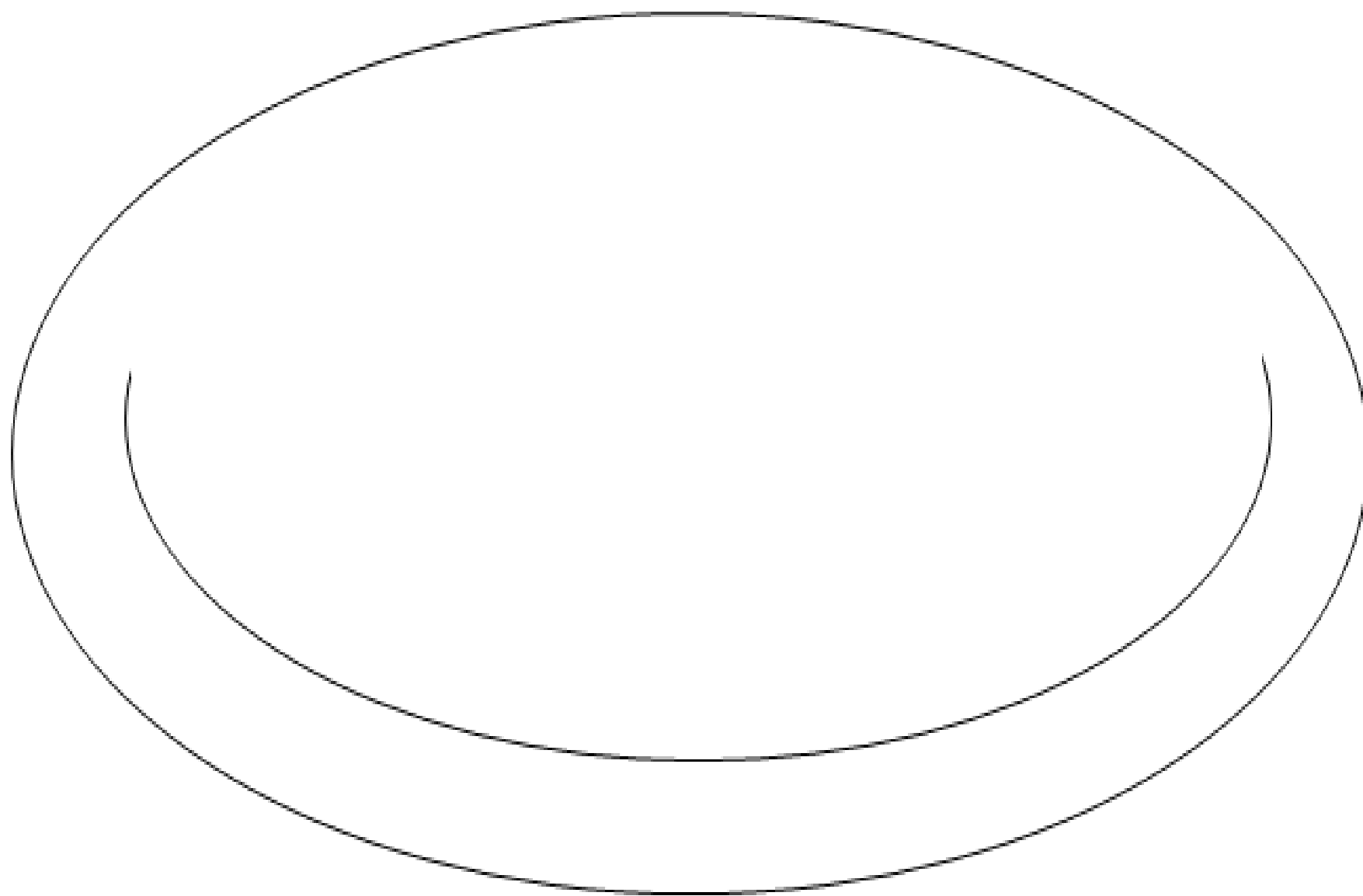
ーねん くみ ばん なまえ（

）

「サラダでげんき」ストーリーをかんせいさせよう

⑧	○じぶんだけの オリジナルレシピを かんがえて サラダでげんき ストーリーを かんせい させよう						  
⑦	○じぶんだけの オリジナルレシピを かんがえて サラダでげんき ストーリーを かんせい させよう						  
⑥	○じぶんだけの オリジナルレシピを かんがえて サラダでげんき ストーリーを かんせい させよう						  
⑤	○だれが どんなことを したのか たしかめよう						  
④	○だれが どんなことを したのか たしかめよう						  
③	○だれが どんなことを したのか たしかめよう						  
②	○おはなしをよんで おもしろかったことや ふしぎにおもったことを こうりゅうしよう						  
①	○おはなしをよんで おもしろかったことや ふしぎにおもったことを こうりゅうしよう						  

サラダでげんき

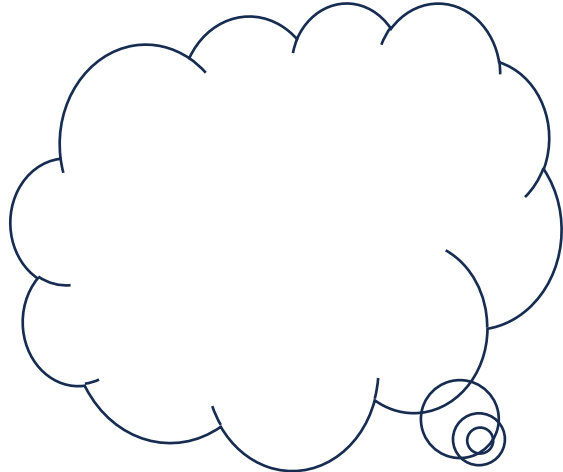


1ねん くみ なまえ()

サラダでげんき(ー) なまえ)

●おはなしをよんで おもしろかったことや ふしぎにおもったことを
こうりゆうしよう。

わたしは、



とおもいました。

なぜかというと、

●りっちゃんは何でサラダをつくろうとしたのだろう。
りっちゃんがかんがえたことをかこう。



サラダでげんき(2) なまえ)

●だれがどんなことをしたのかたしかめよう。

●とうじょうじんぶつ (だれが) ◎どんなふうにとうじょうしたか		サラダにいれるざいりょう		たべるとどうなるか	
■りっちゃん 		 			
■ ◎ きた。		■ ◎ 入ってきた。		■ ◎ だってじょうずになる。	
■ ◎ いった。		■ ◎ がたちまち にひかりだす。		■ ◎ すぐに になる。	
■ ◎ うたが になる。		■ ◎ になる。		■ ◎ になる。	

サラダでげんき(3) なまえ)

●とうじょうじんぶつ (だれが) ◎どんなふうにとうじょうしたか	●とうじょうじんぶつ (だれが) ◎どんなふうにとうじょうしたか	●とうじょうじんぶつ (だれが) ◎どんなふうにとうじょうしたか
と おりてきた。	が とどいた。	と、 小さなおとがした。
サラダにいれるざいりょう	サラダにいれるざいりょう	サラダにいれるざいりょう
したこと ひかない。 いつも を	はいつも 。	いつも 。
たべるとどうなるか		

サラダでげんき(4) なまえ)

● じぶんだけの オリジナルレシピを かんがえて 「サラダでげんき」
ストーリーを かんせいさせよう。

■ どうしようじんぶつ (だれが)

が、

◎ どんなふうにとっじょうしたか

サラダでげんき(例) なまえ)

●じぶんだけの オリジナルレシピを かんがえて 「サラダでげんき」
ストーリーを かんせい させよう。

■とうじょうじんぶつ (だれが)

となりの いえの まこちゃん

が、

◎どんなふうにとうじょうしたか

おでこに あせをかきながら せかせかと 入ってきました。

ちよつとまって。まだまだたべてはいけません。

サラダのしあげには、なんといってもナッツのトッピング。

カリカリのナッツは、はごたえばつぐん。

これをたべると、あたまの中がとってもすっきりして、

しゅう中力がつきますよ。けいさんもはやくなりますよ。

さあ、めしあがれ。

■とうじょうじんぶつ（だれが）

となりの いえの まこちゃん

が、

◎どんなふうにとうじょうしたか

おでこにあせをかきながら せかせかと 入ってきました。

ちよつとまって。まだまだたべてはいけません。

サラダのしあげには、なんといってもナッツのトッピング。

カリカリのナッツは、はごたえばつぐん。

これをたべると、あたまの中がとってもすっきりして、

しゅう中力がつきますよ。けいさんもはやくなりますよ。

さあ、めしあがれ。

■とうじょうじんぶつ（だれが）

まほうつかいの まゆちゃん

が、

◎どんなふうにとうじょうしたか

ほうきにのって まどから ピューツと 入ってきました。

ちよつとまって。まだまだたべてはいけません。

サラダのしあげには、なんといっても うめぼし。

たねをとって 小さく きざんで入れてみて。

これをたべると、すっぱさで つかれがふきとびますよ。

おかげで わたしは、いつもげんき。

さあ、めしあがれ。